

シェナの聖カタリナ

2018 年



親愛なる姉妹の皆様

来る 4月 29日、私たちは、シェナの聖カタリナの祝日を祝います。私たちは、彼女が身体的に弱い女性であったにもかかわらず、彼女の使徒的活動の驚異、教会に有利な政治的外交的行動を誇りにしています。私は、少し彼女の人生と思考について皆様と一緒に考えてみたいと思います。

シェナの聖カタリナについて話すとき、教会について話しています。それは、当時教会が危機に瀕しているとき、丁度現代の私たちの社会、政府、家族に似ており、その解決策は容易ではありません。しかし危機に瀕しているときが悪いとは言えません。おそらく、生活様式と価値観の捉え方が崩壊しているか、または何か新しいものへの道が見えなくなっているという状態です。それは、私たちの時代と非常によく似た状況であり、多くの点が共通しており、彼女は、私たちに多くのことを伝えています。

彼女が教会について語るとき、決していい加減なことを言っているのではなく、情熱をもって教会のことを述べます。彼女が愛した教会は、生き、そして死んだのです。「私が死ぬのは、教会のために情熱のうちに死ぬことです」。聖カタリナの教義の核である教会を語ることは、一時の紛争を無視しない教会のことです。なぜなら、それは、人間とその実現に関係があるからです。この点に関して、聖ヨハネ・パウロⅡ世は、彼女をヨーロッパの保護者と宣言し、その際に次のことを思い出させました。「若いシェナの女性は、確かな歩みと熱心な言葉で、その時代の教会的および社会的問題の中心に入りました」。（使徒的書簡 Spes aedificandi 1999年10月1日、n.6）

パウロ VI 世は、彼女を教会博士に宣言し、「彼女は、政治的な女性でしたが、言葉に靈的な意味を含んでいました」と明言しています。

彼女は、女性として教会の側から 3つの莊厳な謝意を受けられました。彼女の同国人、ピオⅡ世教皇は、1461年に彼女を列聖しました。パウロ VI 世教皇は、1970年に教会博士としてイエスの聖テレサと共に彼女を任命しました。これまででは、男

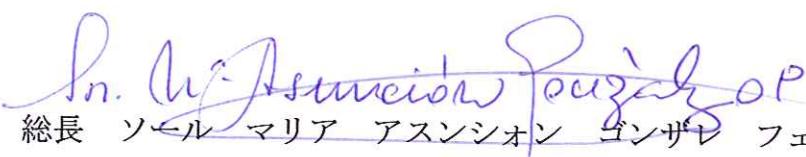
性のみにこの称号が与えられていました。ヨハネ・パウロⅡ世は、彼女をヨーロッパの保護者に宣言しました。これらすべては、疑う余地もなく、彼女が偉大な信仰の人、稀にみる女傑として語っています。

しかし、シェナの聖カタリナは、無学な女性でしたが、神体験を通して、靈的な教師となり、あらゆる種類の人々、信徒、貴族、枢機卿、司教、修道者を効果的な平和の促進者として導かれました。こうして、イエス・キリストと一つになり、教会に対する熱心な衝動に駆られて行動しました。彼女は、緩和や割引しない愛をもって愛に燃えつきました。彼女は「私の性質は火である」と言って自分自身を定義し、この火のゆえに、聖トマスが言われた説教と祈りを合わせたキリスト者の完璧な生涯を実践しました。「これは、ただ燃えるだけでも照らすだけでもないことから、活動と観想を合わせた完璧な生活です」。

Timothy Radcliffe ドミニコ会士は、聖カタリナの教会博士の宣言の機会に、私たちの聖人のメッセージの妥当性を強調する手紙を全ドミニコ会にあてて書かれました。「聖カタリナが生きたヨーロッパは、今日の私たちの世界のように、暴力と不確実な未来によって特徴づけられました。教会における活力の低下とアイデンティティーの喪失、同様に修道生活の危機があります。（ドミニコ会への手紙、ローマ、2000）彼女は、あきらめることなく、教会と社会を改革し、平和にする難しい任務に着手しました。聖カタリナは、社会や教会で重要な役割を果たすことによって、どのような状況の中でも立ち上ることを知っていました。正義ではなく、最強の法律である勝利、戦争と平和の間に継続的な戦いが耐えない世界において、聖カタリナは、真の平和を促進することができる考えを私たちに提供します。彼女は、戦争ではなく、平和、謙虚で継続的な祈り、汗と涙が苦しみのうちに流されても、それを獲得するために戦いました。彼女は、表面的な平和や楽な仕方で真理や正義を犠牲にしませんでした。聖カタリナは、キリストのみ跡に従って、自己を放棄し、与えながら神と人との間の平和を成し遂げようと努力しました。彼女は、たとえそれが私たちに迫害と拒否の原因となっても、私たちに平和をもたらす人の役割を引き受ける勇気を持つよう奨励しています。

キリストの平和が、私たちの心に溢れ、私たちの周りの人、特にそれを最も必要とする人たちに行き渡るよう願っています。

皆様がたに平和、そしてシェナの聖カタリナの祝日おめでとうございます。


総長 ソール マリア アスンシオン ゴンザレ フェイホ, O.P.